

◇AEDトレーナーなどを寄贈 海部南部危険物安全協会（鈴木敏之会長）は、訓練用の自動体外式除細動器（AED）トレーナー12台とN95マスク490枚、消毒液5本を海部南部消防組合に寄贈した。

協会は毎年、救命講習会を組合に依頼するなどの縁があった。コロナ禍で消防業務も感染対策に苦慮している現状などを知り、資機材の充実による貢献ができ

ればと寄贈を決めた。

組合管理者を務める飛島村の加藤光彦村長は「限られた環境の中、消防業務を遂行する上で、大変感謝している。有効に使用させてもらい、引き続き地域に還元できるよう消防業務に努めていく」と話した。



加藤村長らにAEDトレーナーなどを贈る鈴木会長（右）飛島村の海部南部消防組合消防署で